

## 4章 総合問題4

### 問題

#### 【1】

##### 解答

(1) ㉔ (2) ㉑

(3) 不要となる段落 a 1番目にくる段落 b 4番目にくる段落 c

(4) b

##### 解説

(1) 趣旨をつかむ

文章全体のテーマは共同学習だが、趣旨はそれを強く批判することである。第1パラグラフの初めで、この教育方法が人気を博していることに言及されているが、disguise its drawbacks（その欠点を覆い隠している）という表現とともに、否定的な評価へ移行する。(1)の正解は㉔である。fatal weaknesses（致命的な弱点）というのは、さらに強い否定的評価である。この文で筆者は自分の主張を強く述べているのである。

(2) 要点からはずれない

(2)では、第6パラグラフの中でふさわしくない文を削除しなければならない。㉑のセンテンスは、著者の意見と完全に矛盾している。

(3) パラグラフの順序を正しく並べ替える

(3)では、関係のないパラグラフを1つ削除して、最後の4つのパラグラフを正しい順序に並べなければならない。

aのパラグラフは筆者の意見と矛盾するので、この文章の一部にならない。

bのパラグラフが1番目にこなければならない。最初のセンテンスで、教師が用いるようすすめられる「さまざまな方法のうち、1つ以上の方法」を予告している。そして、For instanceに続けて、その方法の第1番目のものを紹介している。

eのパラグラフは2番目にこなければならない。In another model（もう1つの方法では）で2つ目の方法が紹介され、a third proposal（3番目の提案）で3つ目の方法が紹介されている。このパラグラフは、これらの方法はすべて同じことを意味している、という筆者の見解で締めくくられている。

dのパラグラフが3番目にくる。ここで、筆者は上で述べた方法を批判している。

cのパラグラフが最後にくる。結論として筆者は、グループ学習の価値は認めているが、それが教師主導の学習に取って代わるべきだという考え方には反対している。

(4) 第3～5パラグラフの内容を最もよく表しているものを選ぶ。

a 「個々の競争の問題点」

b 「責任を共有する集団学習の問題点」

c 「教師間における責任の欠落」

d 「チームワークの重要性」

第3パラグラフは、集団で負う責任を、第1文では弱み、第2文では a heavy, ... unreasonable responsibility「重すぎる…無責任な責任」としている。第4パラグラフは this burden of responsibility on to the students「この責任を生徒に肩代わり」に言及し、前文でなされている展開と繋がっている。第5パラグラフで、著者はチームワークの価値を認めているものの、生徒達は、一斉に平均されるのではなく、引き伸ばすよう奨励されるべき高い水準の技術をまったく異なる分野で持っているかもしれないという事実を述べている個人的な逸話を披露している。

#### 全訳

教育分野の流行は定期的に移り変わる。1980年代以降教育界を席卷した1つの流行は、共同学習として知られている。「共同学習」は「生徒中心」学習とか「発見」学習といった他の教育上の専門語とともに連想される。共同学習は、従来の教師主導型の教室の単調さを一時的に和らげることから、明日の労働力の社会順応まで、すべてのことに対する万能の策として盛んに宣伝されてきた。

共同学習は非常に人気を博してきたので、私たちはその利点に目を奪われて欠点を見失う可能性がある。㉔共同学習は広く受け入れられているが、この方法には複数の致命的な欠点があることを教師も親も知るべきである。

それらの欠点の1つは、共同学習のもつ基本前提である。つまり、グループのメンバーがお互いの学習に対して責任があるという点である。これはおそらく若者に負わせるには重すぎる、私に言わせれば、無責任な責任である。

経験豊かな教師でさえ、彼らの教室での学習がうまくいかないことに對し責任があると思われるたくないものである。しかし、共同学習はこの責任を生徒に肩代わりさせるのである。つまりチームの成功はチームの全メンバーの個々の学習次第であるということである。

しかし、チームワークが強力で、何か生み出される価値があるとしても、もし、私の高校のフットボールのチームが私が一員となることを受け入れるよう強要されたのだったら、私たちはすべてのゲームで惨敗に帰したであろう。しかし、一方で、ランニングバックの花形選手と数学と英語の点数を分かち合わなくてはならなかったのならば、その点数では私は決して大学に行けなかったであろう。もっとも彼の方は行けたのであったろうが。というのも、17歳で彼はすでに州の最高のフットボール選手だったからである。幸運にも、そんなことは起こらず、私はプリンストン大学に入学し、彼はピッツバーグ・スティーラーズとして、スーパーボールで勝利するに至った。

㉕集団責任の最初の問題点から生じるものに、評価という問題がある。㉖チームスポーツにおいて、勝者を決定するのは、そのチーム全体のスコアである。㉗あるメンバーが優れていようと、また、あるメンバーがミスばかりしようと、(個々の選手の将来のことを除けば)重要なことではない。しかし、学習・学問においては、それは全く通用しない。㉘グループの全員が同等な関心・能力・やる気を持っているとは限らない。

b グループのメンバーを刺激してお互いの学習を真剣に考えさせるために、教師は今までに提案されたいろいろなモデルを1つないしそれ以上利用したい気持ちになる。例えば、確実にグループ全員がワークシートを終わらせたり、小テストの準備をしったりするように、グループに対して褒美を出す。また得点を合計して、チームの結果に基づいて、褒美や評価を与える。

e またもう1つのモデルでは、グループの得点の平均を出し、各生徒には同じ成績が与えられる。第3番目の提案は、グループのプロジェクトすなわち学習課題に対して、得点を与え、この得点をそのグループの各生徒の成績にすることである。これらすべては、本質的に同じもの、つまり、共同評価に至る。

d これは学習達成を評価するのに公平な方法とは言いがたい。それは民主主義的理想を反映させるものであり、生徒が平等に習得・学習を行うことを保証するという理由で、現場でのこの方法を擁護するものもある。しかし、実際はそうではない。それどころか、民主主義的な要素は全くなく、少なくとも私が保持するジェファースンの主張の中には見出せない。それはボーイスカウトや高校スポーツと同程度に害がなく、その一方で特定の狂信的集団や抑圧的な政府と同程度に非人間的な、組織を統一する全体主義の原則に基づいているものである。

c しかし、科学的学習課題、音楽作品の制作、クラブでの発表（かなり前であるが、私の息子のクラブで作った小型星座投影機など）のようなグループ共同作業には高い教育的価値があると認める。しかし、これは、自分達の生徒がまだ知らないことを教える、学識・情熱がある教師にとってかわるものとは全くならないのである。

<不要な一文>

①しかし、適切な指導があれば、一人一人が同等な技能を獲得しうる。

<不要な選択肢>

a 生まれつき才能ある学生は多いが、何時間も教師に講義をされてばかりでは飽きてくるものだ。共同学習は、この退屈さを軽減するものかもしれない。

## 【2】

### 解答

「全訳」下線部参照。

### 全訳

ミズーリ州モンロー郡の最初の「電話」は、1876年に地元の内科医であるフレッド・M・モス医師によって設置された。電線の一方の端は彼の家、もう一方の端は4区画離れたドラッグストアに設置された。だが、その利便性はきわめて不満足なものであった。それどころか、地元の人々が仕事とは無関係の電話をかけて好奇心を満足させてしまうまで、その電話は役に立つというよりむしろ厄介な物であった。

### 注

ℓ. 1 ◇ county 「郡（米）；州（英）」

◇ install = place (machinery) in position ready for use

ℓ. 2 ◇ local = relating to a particular area or to the area in which *one* lives

*cf.* the *local* post office (地元の郵便局)

◇ physician = a doctor *cf.* physicist = an expert in physics

◇ the other end (was) down in ~

ℓ. 3 ◇ block = a section of a city

◇ service = the provision or system of supplying a public need

< serve = do work for; give service to

ℓ. 4 ◇ more of a nuisance than otherwise

○ more of an A than B 「B というよりはむしろ A (の性質を持つ)」

○ of : 「性質」

○ nuisance = a thing that causes trouble or inconvenience

◇ otherwise 「形容詞」 「(先行の名詞・形容詞などの反対語の代わりとして) そうでない (もの), 違った」

○ ここでは a nuisance の逆の a blessing, a convenience の意味

### 【3】

#### 解答

(1) 頭と顔が包帯でぐるぐる巻きになっている状態

(2) a (3) e (4) ⑦ (5) c (6) e

(7) (I) ① c ② a (II) ③ × ④ e (III) ⑤ a ⑥ c

#### 解説

(1) ○ smother = fill, cover or wrap up completely

○ surgical cotton 「包帯」 ※ 普通は「脱脂綿」のことである。

○ surgical = used in or connected with surgery

< surgery = the science and practice of treating diseases, injuries, etc. by operations

(2) ○ my wits do wander.

○ wit = intelligence; understanding; mental power; quickness of mind

○ do 《強調》

○ wander [wá:ndə] = become confused

cf. wonder [wá:ndə] = ask oneself

(3) ○ with your trouble people are always depressed

「あなたが抱えているような問題があれば、人はいつだって気落ちしてしまう」

○ depressed … ℓ. 15 blue の言い換え。

(4) It's having so much time to think that makes me depressed. 《強調構文》

(5) ○ I wonder whether my life has been happening to me or somebody else.

「人生は私に対して生じてきたのか、それとも他人に対して生じてきたのか、疑問に思う。」《直訳》

○ この happen to は文字通り、「～に対して起こる」の意味。

(6) shake one's finger at ~ 「人差し指を～に向けて動かす」《脅迫・警告・非難・叱責などの gesture》

※ ここでは「そんなことじゃだめじゃない」という気持ちを表している。

< shake A at B 「A (手・棒など) を B に向かって突きつける [振り回す]」

(7) ① at heart = in one's real nature

② 意味上の主語 (notional subject)

③ felt unable > feel + C

④ see (something) through = not give up doing a task, project, etc. until it is finished

○ be it chess, farm work, or anything else 《譲歩》

cf. *Be it* ever so humble, there is no place like home.

(どんなに貧しくても、家にまさる所なし。)

⑤ persuade A that B does …は「Aを説得してB(= does)させる」という意味なので、persuaded とすると、Frank は that 以下のことを実行したことになる。してしまう。

○ここでは、Frank は Mary の言うことに耳を傾けようとしていないのだから、tried to persuade となっている。

⑥ now that 「今はもう…なので」と訳出されることが多いが、それほど強い因果関係は示さない。

cf. *Now that* he's married, he often plays tennis.

(結婚した前の彼は(結婚する前と違って)よくテニスをする。)

× (彼は結婚したので)

#### 全訳

メアリーは毎日午後になると病院に来たが、フランクはメアリーが来るのをそわそわしながら待った。奇麗な夏服を着て涼しげでさわやかなメアリーが病室に入ると、彼女を迎えようと彼の心は弾んだ。①頭も顔も包帯でぐるぐる巻きになっているのであまり話せなかったが、彼女の方に目を向けることも心から満足して呼吸をすることもできた。2週間後、不十分ながら服を着ていすに座り、彼女とチェスをするぐらいには回復していた。

ある日の午後、2人は居間の西窓のそばでチェスボードを挟んでチェスをしていたが、フランクはその日も負けを認めざるを得なかった。

「僕とチェスをして絶対退屈だろう。」と彼は呟いた。

「もっと元気になってチェスに集中できたら、もっとうまくやれるわよ。」とメアリーは慰めた。フランクは、かなりの物事において頭が働くタイプだったのに、チェスはからきしだめで、うまくなる見込みがないのは明らかだったので、メアリーは困ってしまった。

「そうだね。考えが全くまとまらないんだ。僕の植えた小麦畑を見てごらん。すごいよね。でも収穫することはできないだろうな。自分で始めたことの始末が全然できないんじゃないかと思うことがあるよ。」と彼はため息をつきながら言った。

「もうよくなってきているんだから、くよくよするのはやめて。父もそんなけがをすれば、誰だって気が滅入ってしまうもんだと言っているわ。」とメアリーは言った。

フランクはゆっくりと首を横に振って、「いや、そういうことじゃないんだよ。僕が気が滅入っているのは、考える時間がありすぎるからなんだ。メアリー、何しろ僕は自分が満足できることは何一つやってないんだ。僕にも何かうまくやり遂げられるものがあるはずだ。じっと横になって考え事をしていると、僕の人生が僕のためにあるのか、他人のためにあるのか、わからなくなってしまうよ。自分の人生が僕自身とはあまり関係がないように思えてしまうんだ。ほとんど始まってすらいない感じだ。」と言った。

「でもあなたはまだ22にもなっていないのよ。まだ十分に時間はあるわ。あなたがいつも考えていることっていうのはそんなこと！」

と言って、彼女は人差し指を彼に向けて振った。

「僕はいつも2つのことを考えているんだ。それがその1つだ。」とフランクは言った。

- ℓ. 2 ◇ restlessly < restless = characterized by inability to rest or relax, uneasy  
 ◇ , cool and fresh in her pretty summer clothes, 《準補語》
- ℓ. 3 ◇ leap = (figurative) jump  
 ◇ not ~ much 《部分否定》
- ℓ. 4 ◇ sweet = delightful; highly satisfying or gratifying  
 ◇ contentment = a state of happiness and satisfaction
- ℓ. 5 ◇ sit up in a chair 「いすの中で身を起こして」《直訳》  
 ○ sit up = be or move yourself into a sitting position, rather than lying down or leaning back  
 ◇ half-dressed 「中途半端に服を着て」  
 ※ ℓ. 3 his head and face were smothered in surgical cotton という記述から、体中包帯を巻かれていることは容易に推測できる。
- ℓ. 6 ◇ the sitting room = living room  
 ◇ with the chessboard between them 「チェスボードを2人の間に置いた状態で」→「チェスボードを挟んで」  
 ○ with + O + C 「O を C の状態にして」
- ℓ. 7 ◇ admit = confess to be true or to be the case  
 ◇ beat = win a victory over
- ℓ. 8 ◇ dull = monotonous; not exciting  
 ◇ murmur = speak in a low voice
- ℓ. 9 ◇ fix your mind on = concentrate on  
 ◇ assure = say positively; make (a person) sure of something
- ℓ. 10 ◇ puzzle = bewilder; perplex; baffle  
 ◇ had none at all for chess = did not have any good head for chess whatsoever
- ℓ. 12 ◇ sigh [sáɪ] = express tiredness, sadness, etc. by a sigh  
 < sigh = a deep breath that can be heard  
 ◇ lovely = attractive; magnificent
- ℓ. 13 ◇ harvest = gather in (a crop)
- ℓ. 15 ◇ blue = sad or depressed
- ℓ. 17 ◇ it's not that = the reason is not that; it is not the trouble that depresses me
- ℓ. 18 ◇ you see: (informal) used when you are explaining something
- ℓ. 19 ◇ good = (of a person) doing what is necessary in a satisfactory way, suitable  
 ◇ still = without movement or sound or both
- ℓ. 21 ◇ make much of = give a significant amount of attention or importance to
- ℓ. 22 ◇ that = I haven't made much of a start

【4】

解答

「全訳」下線部参照。

全訳

18世紀末以降、産業革命の進展が田舎者たちの国としてのイギリスに終りを告げ、そしてもしかすると人々の記憶の中に、人間が自然とより密接に調和して暮らしていた、失われてしまった世界という、人々を慰める神話や、あるいは何とかしてそこへ立ち戻って自分の故郷を生活の中に見出そうという甘い夢を植え付けるのに役立ったかも知れない。住宅や工場、会社や郊外が広がれば広がるほど、田舎の現実はますます後退し、絶えざる労働と天候の不安定さに支配された生活が、遂には健康と幸福からなるユートピアへと姿を変えられた。

注

- ℓ. 1 ◇ from ~ onwards = 「～以降」
- ℓ. 2 ◇ signal = announce
  - ◇ help to ... 「…するのに役立つ」
  - ◇ implant in folk memory the comforting myth of ~, or the fond dream of ...
  - implant in B A < implant A in B
  - implant = establish (an idea) in a person's mind
  - A = the comforting myth ~; the fond dream ..., B = folk memory
  - folk = people in general
  - comfort = make (someone) feel less unhappy; console
  - myth = a widely held but false belief or idea
  - of 《同格》: the fond dream of の of も同様
- ℓ. 3 ◇ in which mankind (had) lived in ~
- ℓ. 4 ◇ fond = hoped for, but not likely to come true; foolishly hopeful
  - ◇ somehow = in some way
  - ◇ roots = the place in which *one* was born and brought up
  - ◇ ruralism = rurality; rural life
  - ~ism 「行動・状態・作用」「休養・主義・信仰」「特性・特徴」「病的状態」を表す。
  - ◇ the greater ~, the more ...
    - < the + 比較級 ~, the + 比較級 ... 「～すればするほど、その分だけ…」
    - ※ the は 2 つとも副詞
- ℓ. 5 ◇ terrace = a row of similar houses joined together 「連棟式集合住宅；高台に建ち並ぶ住宅」
  - ◇ the 〔冠詞〕: 「総称」
  - ◇ suburb [sʌbə:rb] = an outlying district of a city, especially a residential one.
- ℓ. 6 ◇ recede = go back
  - ◇ until 「(～して) 遂には～」
  - ◇ unceasing = not coming to an end; continuous
- ℓ. 7 ◇ A is transformed into B < transform A into B = change the form of A into B



- A = a life governed by ~ and ..., B = a dreamland of health and happiness
- ◇ a dreamland of health and happiness
- dreamland = an imagined and unrealistically ideal world
- of 「～から成る」 (構成要素を示す)

## 【5】

### 解答

- (1) Where does each teacher come from originally?  
[You must use capital letters.]  
Teacher A : From Japan.  
Teacher B : From Ireland.
- (2) How long has each teacher lived in Japan?  
Teacher A : For three year (s).  
Teacher B : For one year (s).
- (3) What did each teacher major in at university?  
Teacher A : English literature  
Teacher B : business administration
- (4) What is the name of the course which the teacher is introducing?  
[You must use capital letters.]  
Teacher A : English Literature before Shakespeare  
Teacher B : Money and Banking
- (5) How many books are mentioned by each teacher during the introduction?  
[You must use capital letters.]  
Teacher A : Two  
Teacher B : Two
- (6) What is the title of the book which the teacher asks the students to buy?  
[You must use capital letters.]  
Teacher A : Early English Literature  
Teacher B : Global Financial Markets

### Script

#### CD 1 14 ~ 18

Teacher A

Good afternoon, everyone. My name is Robert Simpson, and I'd like to thank you all for being here on time. Before giving you a brief overview of the course content, I'd like to tell you a little bit about myself. Believe it or not, I was actually born here in Tokyo although I've only spent three years living in Japan. I spent the first two years of my life here while

5 my father was stationed at an American Army base in Japan after the war. Since both my



parents were from Texas, my citizenship is American, of course. I returned to Japan only one year ago. I finished my master's in English literature at Georgetown University only shortly before getting a position at this school. If all goes well, I hope to spend a few more years here.

10       Next, I'd like to go briefly over the content of the course, which is entitled English Literature before Shakespeare. We will begin with a study of the origins of the English language starting with the arrival of the Germanic tribes in the 5<sup>th</sup> century. You will only need to buy one textbook, Early English Literature. All of the major works from the periods we will be studying are included in this anthology, either in excerpted or  
15 unabridged form. We will also be reading the first three chapters of The History of English, but you won't need to purchase it because I have had the relevant chapters reproduced and will give you all your own copies.

Teacher B

Good evening, class. My name is Anne Bentley, and I'd like to welcome you to Money and Banking. I know that most of you are coming here after a full day of work, but I would appreciate it if you'd make every effort to get to class on time. Before we begin looking at the course content, let me say a few words about myself. I'm originally from Ireland, but my  
5 family moved to the States when I was still in elementary school. I got my master's in business administration from Columbia in 1978 and have been on the faculty there since 1990.

I'm very happy to be part of the extension program in economics here in Tokyo. Until last year I had not had a chance to visit Tokyo although I worked for a Japanese bank in New York City for twelve years before taking up teaching. This will be the second year for  
10 me to be teaching here in Tokyo.

One thing I have learned about Tokyo is that English language books are rather expensive, so I have managed to get the university to buy additional copies of the books we will be using for the library. The only one you will need to buy is Global Financial Markets.

However, if you will look at the book list on the last page of your handout, you will see that  
15 we will be first reading a book called The Coming Crisis. This book is available in sufficient  
quantities in the library, however, so you won't be required to purchase it.

#### 全訳

#### Teacher A

皆さん、こんにちは。私の名前はロバート・シンプソンと言います。皆さん時間通りに来て  
いただいて、ありがとうございます。コース内容の概要についてお話する前に、私自身  
のことを少しお話ししたいと思います。まさかと思うでしょうが、私はここ東京で生まれた  
のです。ただ、日本には3年しか住んでいませんが。父が戦後日本の米軍基地に配置された  
ため、私は生まれてから2年間はここで過ごしました。私の両親はどちらもテキサス出身な  
ので、私の国籍はもちろんアメリカです。日本には1年前に戻ってきたばかりです。この学  
校での仕事を得るほんの少し前に、ジョージタウン大学で英文学の修士課程を終えました。  
すべてが順調に行けば、もう何年かここで過ごしたいと思っています。

次に、コースの内容について簡単にお話したいと思います。このコースは「シェイクスピア以前の英文学」という名前がついていますが、5世紀にゲルマン民族が到来してからの英語の起源を調べることから始めていきます。皆さんが購入しなければならない本は、Early English Literature 1冊だけです。我々が読む予定のこの時期の主要な作品はすべて、抜粋版か完全版かのどちらかの形でこの作品集に収められています。また、The History of Englishの最初の3章も読んでいきますが、これは購入する必要はありません。その章はコピーして皆さんに1部ずつ配付するようにしましたから。

#### Teacher B

皆さん、こんばんは。私はアン・ベントリーと言います。「金融」のコースの受講を歓迎  
します。皆さんのほとんどは終日働いた後にここに来られるということはわかっていますが、  
できる限り時間に遅れずに授業に来るように努力していただけると嬉しく思います。コース  
の内容を見ていく前に、私自身のことについて少しお話ししたいと思います。私はアイルラ  
ンド生まれですが、私がまだ小学生の頃、私の家族はアメリカに移住しました。私は1978  
年にコロンビア大学で経営学修士を取得し、1990年以来その学部で教えています。

今回、ここ東京での経済学の公開講座に参加することができて、非常に嬉しく思っていま  
す。教師の仕事を始める前に、ニューヨークにある日本の銀行で12年間働いてはいました  
が、昨年まで東京に来る機会はありませんでした。東京で教えるのは今年で2年目になりま  
す。

私が東京についてわかっていることの1つに、英語の書籍はかなり高いということがあり  
ます。そこで、何とか大学を説得して、このコースで使う本を数部追加で購入して図書館に  
入れてもらいました。皆さんが購入する必要があるのは、Global Financial Markets 1冊だ  
けです。ただ、配付した資料の最後のページの書籍リストを見ていただくとわかると思いま  
すが、まず最初は The Coming Crisis という本を読んでいきます。この本は図書館に十分に

部数がありますから、皆さんには購入していただく必要はありません。

## 【6】

### 解答

b

### 全訳

ある暑い日、1頭の鹿が水を飲もうと水の澄んだ湖にやってきたが、立ち止まって水に映る自分の姿を眺めた。

「私の角はなんて美しいのだろう！ 頭の両側から枝のように突き出している角は、なんと力強くて素敵なのだろう！ それに引き換え私の脚がとても細くて不恰好なのは、なんと残念なことなのだろう！」と鹿は言った。

ちょうどこの時、1頭のライオンが森の中から姿を現して、今にも鹿に飛びかからんばかりだった。

鹿はサーと逃げ出した。そして、大嫌いだっただ脚のおかげで、すぐにその危険から逃れていたはずだった。しかし、木が生い茂った森に来ると、自慢してきた見事な角が枝に引っかかって身動きがとれなくなってしまい、ついにはライオンがやってきて捕らえられてしまった。

私たちは、自分にとってあまり役に立たないものを自慢してしまって、真の意味で自分の助けになるものや長所に感謝するのを忘れてしまうことがある。

### 解説

- a 我々は美しいものを憎むべきだ。
- b 我々はたとえ美しくなくとも、重要なものをもっと誇りに思うべきだ。  
even if they aren't beautiful  
= We don't know whether they are beautiful or not  
cf. *even though* they aren't beautiful  
= We know that they aren't beautiful, but ...  
○ 最終段落に合致
- c 我々はもっと速く逃げることができるように、脚を鍛えるべきだ。
- d 我々は強くて役に立つものを忘れるべきだ。
- e 我々は、湖のほとりにいるその鹿を、家の中で飼わなくてはならない。

### 注

- ℓ. 1 ◇ deer = a graceful animal, the male of which has horns 「鹿」  
※ 単複同形である点に注意。かつて東大の文法問題で出題されている。  
◇ came to drink from a clear lake  
「水の澄んだ湖から水を飲もうとやってきた → 水を飲もうと水の澄んだ湖にやってきた」  
◇ stop to ... 「立ち止まって…する」 (←これまで行っていた行為を止めて…する)
- ℓ. 2 ◇ image = an optical appearance or counterpart produced by light or radiation from an object reflected in a mirror, reflected through lens, etc.; reflection

- cf. The dog saw his *image* in the water. (犬は水の中に自分の姿を見た。)
- ℓ. 3 ◇ horn = hard, bonelike growths, which are often curved and pointed, on the heads of cattle, goats and many other animals
- ◇ branch = diverge from the main point; divide into branches
- ℓ. 4 ◇ What a pity it is that my legs should be so thin and ugly!
- < It is a pity that my legs should be so thin and ugly.
- It is a pity that ~ should … 「～が…するとは残念だ」
- pity = a cause for regret or disappointment
- should = used for describing a fact or event that someone has a particular feeling or opinion about
- thin = having little flesh
- ugly = unpleasant to the sight
- ℓ. 5 ◇ came through the forest
- come *across* the forest ではないのはℓ. 8～10を見てわかるように、木々が生い茂った森を通ってきたから。across だと、平坦な道を通ってきたことを示唆する。
- The difference between *across* and *through* is like the difference between *on* and *in*. *Across* is used for a movement on a surface.
- Through* is used for a movement in a three-dimensional space, with things on all sides.
- cf. We walked *across the ice*.
- through the wood*.
- across the square* to the cafe.
- through the crowd* to the bar.
- ◇ make ready to … = get ready to …
- cf. I've got to *make* [*get*] *ready for* the test tomorrow morning.  
(明日の午前中の試験のための準備をしなくてはならない。)
- ◇ spring upon = jump suddenly from the ground; move suddenly from rest, concealment
- ℓ. 7 ◇ Away ran the deer
- 副詞   V       S
- 主語の動作を具体的に表現するには、主語が名詞の時には「副詞 + 動詞 + 主語」、主語が代名詞の時には「副詞 + 主語 + 動詞」の順序にすればよい。
- cf. Up the tree went the monkey. (猿はスルスルと木に登った。)
- In he walked. (彼はさっと入ってきた。)
- Down he came from the branch of a tree. (彼は木の枝からパッと飛び降りてきた。)
- ◇ the legs that he had despised would soon have carried him out of danger
- despise = ① scorn ② loathe
- ◇ would soon have carried him ~ の would have done は仮定法ではなく、「未来完了」を表す will have done の will が時制の一致で過去形の would になったもの。
- carry A out of B 「A を B から運び出す」

ℓ. 8 ◇ thick = made up of a large number of things or people close together

ℓ. 9 ◇ catch = ① entangle ② *get entangled*

cf. The kite *caught* in a tree. (たこが木に引っかかった。)

She had her skirt *caught* on barbed wire. (彼女はスカートに有刺鉄線に引っかかった。)

◇ fast = firmly

cf. a door shut *fast* (固く閉ざされた戸)

ℓ. 11 ◇ of little use = not so useful

◇ forget to ... 「...するのを忘れる；なおざりにする」

◇ be thankful for = be grateful for

ℓ. 12 ◇ strength = a good or useful quality

cf. English is our brother's *strength*. (英語が我々の兄の強みだ。)

## 添削課題

### 解答例

I think that we should concentrate our efforts on learning one foreign language as thoroughly as possible rather than studying several languages at one time. The time we can spend on foreign language study is limited, so we cannot study several languages at once except in a superficial way. It is better to be able to speak one foreign language well than several poorly. Also, since English is used for international communication, Japan should achieve as high a standard of English education as possible. [84 words]

### 別解

In my opinion we should study more than one foreign language. When we study a foreign language, we open doors to other cultures and broaden our own minds. Moreover, it is a sign of respect to others to speak to them in their native tongues, so learning to communicate in other languages will help us to make friends around the world. After all, doesn't it make us feel good when foreigners make the effort to learn Japanese? [77 words]

### 解説

○ Whatever your opinion on the subject of foreign language study is, make sure you state it clearly and give adequate support. For a short composition like this, one or two reasons are enough.

○ Don't waste words. It is not necessary to write "I have two reasons for thinking this." Simply state the reasons, using an expression such as "moreover" or "furthermore" to mark the transition to the second reason. Here is a simple and effective model for this sort of composition:

(I think that) [opinion] because [first reason]. Moreover, [second reason].

In fact, *I think that* or *in my opinion* are not really necessary because when you used the modal auxiliary *should*, it is obvious that you are expressing an opinion.

○ Many students misuse the words "study" and "learn." They do not mean the same thing at all. Many students study without actually learning, and we can learn many things without studying. To study means to spend time trying to learn or concentrating on learning. To learn means to actually gain knowledge or ability.

○ Likewise, you can learn something *well*, and you can learn something *thoroughly*, but you can't learn something *hard*. However, if you study hard, you ought to be able to learn well.